

地図の骨組みにあたることだよ

作った地図から「何がわかるか？」を考えてみよう！



何をどのような記号で表すか、工夫することがたいせつだな

9 やってみよう② 地図をつくろう

わたしたちのまわりではどんな音が聞こえるか調べたものだよ。

家のまわりを歩いてどんな音が聞こえるかメモをとりました。

地図にまとめるときは、はじめに大きな道路や川、めじるしになる学校・家を書いたよ。

一方位や距離など地図のしくみについてもう一度5~6ページで確認しましょう。

地図にまとめたら、どんなことがわかったか、書きました。

聞いて わかったこと 初
私の家の周りや街の中では、
あんなにいろいろな音が
聞こえてくること初めてです。
下には、いろいろな音が
聞こえてくるので、次回は、
聞いてみたいと思います。
そして、家の前のさしものや、
木を植えるのを手伝って、
いろいろな音が聞こえるかな？

さあ、こんどは、みんなで地図をつくる番だよ。

ねえ、どんな地図をつくったらいいの？

ぼくは家のまわりの生活も調べて地図にしてみた

地図づくり

調べたことを地図にまとめてみよう

いろいろなテーマ

家や学校のまわりのようすを調べてみよう。

- 家のまわりの生活も調べ
- 学校のまわりの密着樹調べ

外国とのつながりを調べてみよう。

- 外国料理の調べ
- 外国人にもわかるように書かれた道路標識調べ

入にやさしい街づくりについて調べてみよう。

- 障害ブロックのある歩道調べ
- 公民館や教会、図書館、公館のあるところ調べ

おもしろ手作り地図作成のコツ

愛知教育大学助教授 寺本 潔

岐阜県の友だちがつくった地図



周囲の音や声を集めたよ

周囲の音や声を集めたよ



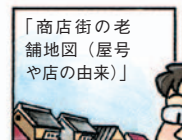
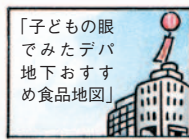
すぐに消えてなくなる音や声も地図に表せるんだね

総合的な学習の時間がスタートしました。社会科教師の腕の見せどころです。総合的な学習の時間や社会科の学習のまとめとして手作り地図を作ってみませんか？手作り地図には、次のような独特な効能が期待できます。

- ①自分で地図にまとめることによって、事象の分布がわかる
- ②調べた地域に対して何からの知的好奇心を呼び起こされ
いっそうその地域に親しみを覚えるようになる
- ③変化したり、動く事象でも地図に表せることを知る
- ④凡例や統計を使った指標づくりに関して理解が進む

これら4点のほかにも、作成した地図を使って発表させたり、さまざまな地図表現技法を工夫できることから、多様な学力を身につけることができます。

おすすめのテーマとして、いくつかあげてみましょう。



など、具体的な取材調査が必要なテーマがいいでしょう。

しかし、身近な地域に関する地図だけでなく、県や日本、外国にまで範囲を広げた地図でもいっこうにかまいません。重要なことは、地図づくりの視点とその表現方法にあります。